

実りの秋の農作物の収穫も無事に終り冬支度も終えられようとしているなか、全道の同窓会の皆様におかれましては、各地でそれぞれに活躍のことと推察いたします。

さて本年は、T P P 交渉にはじまり、T P P で終わろうとしています。政府には、農業の多面性も含めたなかで、守るものは、守っていただくなくてはならない運動は、続けなくてはならない。また消費者に向けては安心安全、安定供給はあたりまえで、生産までの物語を伝え物の価値観や農村の魅力を表現できれば、国民への理解も広がっていくのではと微力ではありますが、民泊受け入れの手伝いしています。



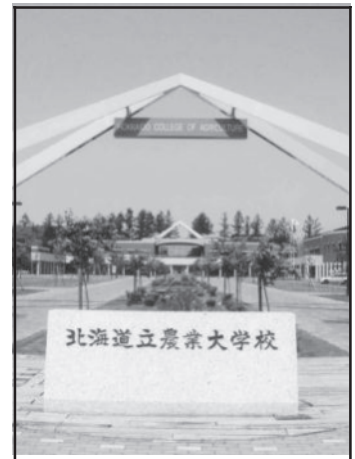
北海道立農業大学校同窓会

ときめき

会長 津島 朗

都会の子どもたちが、とれたての野菜を食べて本当においしいとか、星空がきれいで、空気がおいしいなど直に感動する高校生を見たとき、あたりまえになつていたことにかきかされたことがあります。

皆様方と今後とも学ぶ心の持続と、知恵、協力心で時代とともに来る課題に対処し、ときめきの感じられる農村、かけがえのない食料生産をつづけたいものです。



聖鋏会報

発行所
北海道立農業大学校
同窓会

中川郡本別町西仙美里25-1
電話 0156-24-2122
編集 事務局

期別世話役

- 農講2 鈴木一義 / 5 菅谷誠・渡辺善
- 信 / 8 植田博 / 10 森山睦美 / 11 大平清
- 吉 / 13 辺見政孝 / 16 小南和夫 / 17 佐川
- 満 / 18 吉田甫 / 19 西山利昭 / 20 河田裕
- 相 / 21 相沢勲 / 22 石川眞清 / 23 松崎文一
- 仲 / 25 21 仲鉢昭夫 / 27 芳澤改治
- 農大 1 川本秀一 / 2 和田嘉晴 / 3 塩
- 村 / 4 石丸博雄 / 5 高井正行 / 6
- 道 / 7 道下貞夫 / 7 笹島喜郎 / 8 岩井敦史 /
- 9 井出和実 / 10 富山和也 / 11 石原英之
- 弘 / 12 森本耕二 / 13 宮本茂行 / 14 牧村康
- 直 / 15 小松洋一 / 16 遠山昇治 / 17 田村
- 田 / 18 大碓晋二 / 19 近藤大樹 / 20 三
- 田 / 21 佐藤昭徳 / 22 熊谷直哉 /
- 23 田中真理子 / 24 塚田秀則 / 25 齋藤か
- おり / 26 日光純一 / 渡邊基樹 / 27 齋藤か
- 宏 / 28 嶋貴一也 / 28 鈴木隆也 / 中澤光
- 太 / 29 今西大和 / 今野大吾 / 30 山木
- 秀 / 31 佐藤貴文 / 31 中澤好喜 / 幕田桂
- 一 / 32 黒川昌毅 / 若木章宏 / 33 廣瀬正
- 幸 / 34 下田燮 / 34 毛房智幸 / 原田宏幸 /
- 35 谷川和樹 / 那賀島充人 / 36 大友詠吉
- 喜 / 37 喜多真悟 / 37 高橋裕貴 / 柴田悠 /
- 38 田中啓太 / 前畑龍之介
- 農大 稲作 1 吉田和浩 / 2 大江博之 /
- 3 穴戸聖 / 4 平塚美明 / 5 水嶋淳 / 伊
- 藤 / 6 藤優治 / 6 石川英樹 / 7 嶋田雅虎 / 8
- 泊 / 9 泊り雅幸 / 9 石崎憲一 / 10 富樫孝 / 8
- 11 岡村博信 / 12 平隆之介 / 13 吉見拓也
- 14 吉村正之 / 15 森勇貴 / 16 石川大輔
- 17 竹内誠 / 18 岡岡晃平 / 19 中山義之
- 20 外山隆祥 / 21 下道達也 / 22 黒田直
- 23 久保田和伸 / 24 佐々木智彦 /

第13回 北海道立農業大学校同窓会 総会

平成26年2月1日(土) 16:00～ 総会 北海道立農業大学校
18:00～ 懇親会・宿泊 本別温泉グランドホテル

3年に1回開催している総会です。併せて懇親会も開催します。ご多用とは存じますが、多くの会員のみなさまにご出席頂けますようお願いいたします。

詳細は同封のご案内をお読み頂き、F A X か郵送にてお申込を願います。

【同期会開催のお知らせ】

第13回 同窓会総会にあわせて、同期会が開催されます。ご参加をお待ちしています。

★農講10期(幹事: 森山) ★農大6期(幹事: 道下) ★農大7期(幹事: 府川・洞田)

- 25 加茂貢 / 26 山本翔太
- 農大 研究 1 内野康晴 / 2 加藤幸嗣 /
- 3 木村晴美 / 4 山岸淳 / 5 中西崇継 /
- 6 今西大和 / 7 仁井邦夫 / 8 鈴木健司
- 太 / 9 佐藤直哉 / 10 富永浩貴 / 11 上村優
- 12 小崎光 / 13 松浦豊



今年を振り返って

北海道立農業大学校

校長 加藤 和彦

今年も収穫の秋を迎え、先日、恒例の農大市を、町内外から大勢の皆様にお越しいただき、開催しました。

馬鈴薯やタマネギ、豆類、にんじん、長いも、野菜類や牛肉などのほか、アイスクリーム、牛乳、ベーコン、ジャム、パンなどの加工品も次々と購入していただき、昨年よりも売り上げを伸ばして盛況のうちに終了することができ、学生達も充実感に包まれていました。

一年を振り返ると、今年も、気象変動が激しく、農業生産にとっては難しい年でしたが、同窓生の皆様のところは如何でしたでしょうか。
本校も、植付期や収穫期の雨に悩まされましたが、全体的にはまずまずの出来秋を迎えることができました。

これから農大生も講義やプロジェクトのまとめ、卒論の作成など、実習モードから屋内モードに切り替わり、特に二年生はこれから卒業に向けて試験の？季節を迎えています。

初々しく入学してきた一年生も農大での学校生活や一ヶ月の体験学習などを経て、肉体的にも精神的にも一回り

成長し、たくましくなりました。

一方で、TPP交渉など、農業を巡る情勢は一段と緊迫感を増しており、予断を許されない状況が続いています。農大生をはじめとして、これから農業を担う若者達が夢を抱き続けられるような方向に進んで欲しいものです。いずれにしても、開校以来六十七年間連続として続いている、本校の使命の大きさは変わらないものですので、今後とも職員一同気を引き締めて学生達と向き合っていきたいと思えます。
同窓会の皆様には、ご健勝で益々活躍されますようお願い申し上げますとともに、今後とも変わらぬ暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同窓生の広場

畜産経営学科三十二期

農業経営研究科九期 小池 佐季子

(青年海外協力隊・在マラウイ)

皆さんこんにちは！

私は青年海外協力隊としてアフリカ「マラウイ」という国に派遣されています。任期は二年、現在一年半をマラウイで過ごしています。仕事内容は牛の人工授精普及や農家巡回による飼養管理です。

まず初めにマラウイについてご説明致します。マラウイは九州と北海道を合わせた国土面積です。主な産業は農業で、綿花、タバコ等を輸出しています。また、世界遺産に登録されている「マラウイ湖」では漁業が盛んに行われています。

さて、私はなぜ途上国で働いているのでしょうか？それは幼い頃からの疑問の答えを見つかるためです。

みなさんはこんな疑問を持った事、ありますか？「物のない時代はどんな暮らしをしていたんだろう？」「洗濯機がない生活って大変？」「昔の方が物はなかったが心は豊かだった、どう言う意味？」

そんな疑問を払拭するため、マラウイに来ました。そして一年半が過ぎ、日々驚きや発見の毎日です。

毎日手洗いで洗濯をしているのですが、汚れる水の汚さが尋常じゃない。これは洗濯機を使わなければ知らなかった事実です。

また、道を歩いていると近所の子供や大人、知らない人も気軽に挨拶してくれます。最初は一人一人に挨拶する事に気疲れや煩わしさを感じました。でも日本に帰ったらこんな風に目を見て、知らない人に挨拶なんてしません。

「アフリカ人は時間を守らない」それは、道



で出会う人や知り合いにきちんと挨拶する時間を大切にしているから、時間通りに来れないのだと今は理解出来ます（慣れるまで一年かかりましたっ！）

バイクが故障して困っていると必ず誰かが声をかけ、助けてくれます。日本では「おせっかいかな？」と思う行動が当たり前のように存在し、マラウイアン（現地人）は助け合って生きています。

そして一番マラウイに来てよかった！と思うのはマラウイアンの笑顔です。子供はもちろんの事、大人もキラキラとした目で笑いかけて来ます。街には笑顔が沢山あり、活気に溢れています。アフリカの日差しとマラウイアンの笑顔を見ているだけで「平和だな」と胸がいっぱいになります。あまりにも生命エネルギーが強すぎて、負けそうになります。

そんな日々の中、少しずつ答えが見えて来ました。まだまだ伝えたい発見や驚きは沢山ありますが、ここまでにしておきます。

皆さんも、もし「行ってみたい！」という気持ち芽生えたら、ぜひマラウイ遊びに来てください♪

Zikomo kwambiri---

新しい仲間



畜産経営学科
三十八期生
田中 啓太
(鹿追町)

『卒業後』

三十八期生の皆さん毎日お疲れ様です。いかがお過ごしですか。僕は元気で。卒業して一年目はあっという間に時間が進んでいるように感じます。皆さんも同じように就農、就職などそれぞれの道に進み忙しい毎日を過ごし、そう感じていると思います。

私は養成課程を卒業後、農大研究科に進学しました。初めのころの研究科での寮生活は静かで物足りなく、さみしい気がしました。毎日授業や実習ですと一緒になっていた仲間たちと離れてから、皆さんとの楽しかった生活を思い出しました。今思えば、授業、実習、遊びなど何事も全力で楽しめた二年間でした。

現在私は研究科で、いろいろな酪農家への実習や視察を通して、技術、精神面などのスキルアップを目指しています。これからも皆さんをよきライバルとして切磋琢磨してお互いを高め合っていけたらなと思います。健康第一、安全第一で農作業に励みましょう。それでは皆さん同窓会で会えることを楽しみにしています。



畑作園芸経営学科
三十八期生
前畑 龍之介
(網走市)

『卒業してから』

農大を卒業してから早半年以上が経ちましたが、仕事に慣れてきている頃でしょうか？仕事納めですかね(笑)

まだ雪の積もる春に卒業し、色々な作業を経験しながら日々成長しているのではないかと実感しています。集団経営という少し特殊な経営の中で、農大で学んだことを活かして頑張っています。そんなお堅い話はさておき、私は十月に入籍し、来年二月に式を挙げることにしました！相手は高校からおつきあいさせていた子で、農大卒業後すぐに同棲の計画を勝手に立て、一緒に生活をスタートさせました。

実はこんなに早く結婚するとは思っていません。仕事もそれなりにできるようになり、金銭的にも余裕ができてからだと考えていました。しかしお互いが子ども好きなので、早く子どもが欲しいくなり、しっかりプロポーズと親への挨拶をすませた後、妊娠していることがわかりました。来年には家族が増えますという結婚&妊娠報告でした。これから農家にはどんどん厳しい時代に向かっていくと思いますが、若い力でみんなで協力し合って乗り越えていきましょ。私も一児のパパとして志を高く持ち、BIGな経営者目指して頑張ります。



稲作経営専攻コース
二十六期生
山本 翔太
(旭川市)

『卒業してから半年以上お元気でですか？』

卒業してから半年以上の月日が経ちましたね。私は、委託生として主に繁殖短大で講義・実習を受け、他に年一回農大で集中講義があり、農業簿記や経営についての基礎を学び、自分が家で農業を行う上で必要な経営分析を少しずつ考えられるようになりました。

二年間の学校生活は、実習や体験を通じて、色々な事を勉強できました。学校生活を通して、繁殖短大の同じ科の様々な農家の後継者と交流を深めることで、農業の意見交換ができて、私に知らなかった知識も学ぶ事が出来て良い仲間作りができました。特に稲作経営専攻コースの仲間達とゼミ活動や集中講義を成し遂げたことで一回り成長できました。

就農一年目は、思った通りに作業をこなせず大変でした。農大と繁殖短大で勉強しても、農業の仕事をやってみるとまだまだわからないことが沢山あり、一日でも、仕事を覚えて一人前の農家になりたいです。この先も、二十六年生の仲間と交流をとり頑張りたいです。



農業経営研究科
十三期生
松浦 豊
(帯広市)

『農人それぞれの道へ』

「卒業おめでとう」から早七ヶ月が過ぎた現在、皆さんお元気ででしょうか。私の家は、長いもの収穫を残すのみとなり、時間の流れがこんなにも速い者なのだなど実感しています。実際、農業は一年で一回しか勝負できないと考えると意外と時間が無い事が分かります。ですから一年一年大事にしたいかなければならないと思います。私は農業大学校に四年間在籍しました。その中で色々な農業の勉強をしました。今、現場(自家)に入ってみて自分の知識が通用せず打ちひしがれる日々を送っています。そして、これぞ「農業」の奥深さだと噛み締めているところです。逆に私は、それを乗り越えようという気持ちで湧き、ワクワクしています。みなさんも挫折や失敗をしたりするかもしれませんが、その時は、農大で出会った仲間や経験を思い出して、「農大魂」を奮起させましょ。

農大時代では、プロジェクト活動を中心に様々な経営に関する学習や海外研修等をしてきました。卒業してからもその経験を活かして色々なことに挑戦していきたいと考えています。そしてこれからも人と人の出会いを大切に、仲間と共に農業を盛り上げていきたいと思っています。

期別活動

農講七期生同窓会

幹事 土門 満男

農講第七期生は一九五三(昭和二八年)三月に六九名が卒業し、六十年が過ぎました。その間、逝去者十六名、所在不明者二十名、連絡可能な者三十三名となりました。この様な中、今回網走地区が担当し、五回目の集会を平成二十五年七月十一日 常呂郡佐呂間町「悠林館」で十名の参加で開催されました。



卒業後の経過が長いので、相当の老齢化が進んでいるようで奥様の手助けが必要な人が二名、ステッキが必要な人が二名となっていますが、会食時には在所当時の話に花が咲き、また六十年の人生の生き方などで話も尽きなく、予定時間を二時間も延長したような次第です。これも同期会の絆の強さかと思っています。

農講十七期生同窓会

幹事 杉江 政雄

ここ十勝の地にもようやく春が訪れた、平成二十五年四月二一日、五十年ぶりの農講第十七期卒業の同窓会を雄大な十勝川の、せせらぎが聞こえる、「十勝川温泉観月苑」で開催しました。前日から冬に舞い戻ったような天候でしたが出席者二二名全員が無事到着しました。

ホテル正面に受付を設置して到着を待ちました。五十年ぶりの再会は、昔の面影と現実の映像のハンディキャップを、克服することが大変でした。又十七期同期生は、今まで卒業してから一度も開催しておりませんでしたので、受付で顔と名前が一致しなく〇〇さんだったか、△△君だったか、と聞きながら無事再会を喜び合い、交流会を開催しました。

始めに物故者と成られた方達の黙祷で始まり、乾杯宴会と始まり酒を酌交す内に、オイ〇〇と農講時代に帰った気分になり話はずみ、楽しかった聖鑑寮の話、朝暗い内に家畜当番の仕事に行く話、真夏の暑い日の牧草の圧搾等の話苦労話など話がつきず、終わりました。が今後のクラス会を、今回出席できなかった方達が次回は、必ず出席したいとの事で出席者全員一致で次回やとうと確認し散会いたしました。



農講二十三期生同窓会

幹事 松崎 文一

平成二十五年七月六日に音更町十勝

川温泉の観月苑にて、農講二十三期生の同窓会を行いました。二十三期は一九六九(昭和四十四)年卒業の一〇一人、数年ごとに同窓会を行っています。今回は二年ぶりの開催となり、全道各地から三十八人が集まりました。

「今年は卒業してから四十四年目で、みんな還暦を迎える。四十四年ぶりに再会する仲間もいる。大いに盛り上がる」と幹事からあいさつで同期会は始まりました。今回は還暦の同期会ということで全員が「赤いもの」を身につけ、農講時代のことや自家の経営など話題に尽きませんでした。

最後は成瀬耕治さん(オホーツク管内湧別町)の発声で万歳三唱で、次回は二年後に宗谷管内豊富町で開催することになりました。



農大二十二期生同窓会

幹事 田中 伸和

平成二十五年二月九日帯広市「ふじもり」にて農大二十二期生の同窓会を開催致しました。

前日は道東を中心に悪天候で来られない人が出るかも?と思っていました。みなさんの思いが通じたのか天候も回復し当時畑園、畜産担任だった前田先生、西村先生を含め二十四名の参加でした。

六年ぶりの開催でしたが、子育ても一段落して初めて参加出来た人もいたり、現在の近況(結婚しました、子供が出来た等)や学生時代の話など二時間では足りない時間でした。二次会も全員で行き、



それぞれ来られなかった人の話や次回の開催地、幹事を決めました。次回は今回来られなかった人も是非参加して昔話に花咲かせられたらと思います。

次回の幹事畑園O君、M君よろしくお願ひします!

研究十・十一期生同窓会

廣瀬 正幸

平成二十四年十二月一日に十勝川温泉の富士ホテルにて研究科十期生の同窓会が開催されました。

卒業してから毎年同窓会をしていたのですが、今回は先生・十一期生の人達にも参加して頂き、過去最多の十三人が集まりました。乾杯の直後から同期会報告書を誰か



書くかのジャンケンが始まったりと、酔う前からの騒ぎつつぶりは一年ぶりとは言えども久しぶりに会えた嬉しさや表れたのだと思うと同時に、在学中の懐かしさを感じる事ができました。それぞれ仕事・経営・結婚・冗談など、さまざま話題で盛り上がる事ができ楽しい時間を共有できたのではないかと思います。

十期生らしく、個性豊かで喜怒哀楽の激しい賑やかな会になり、皆にとっても忘れられない思い出がまた一つ出来たこと感じています。幹事をしてくれた岡本君、参加した皆さん本当にお疲れさまでした。もし次回がまたあるのであれば、僕抜きでジャンケンをしてください。

農大三十六期生同窓会

福島 斉

こんにちは。畑園三十六期生の福島斉と申します。

今年一月二五日に帯広市内で同窓会を行いました。全員参加ということには残念ながら出来ませんでした。三分の二以上の参加率には感動とうれしさでいっぱいです。担任の浦上さんをはじめ、私たちが在学中お世話になった普及員の方々にも第一回同窓会同様参加していただきました。

夕食はお酒も交え、なつかしい思い出を語り合ったり、それぞれの地での農民トークに花が咲きすぎ、会場はかなりうるさかったのではないのでしょうか。ホテルマンのみなさんすみませんでし



た。ですが、こうして毎年同窓会が出来るとも幹事を務めてくれた喜多真悟君のおかげでしょう。三十六期生の団結力はすばらしいですね。また来年、みんなの顔を見れることを楽しみにしています。

卒業からみなさんは実家に戻り、すっかり地元になじんだことだと思えます。雪がとけると仕事ははじまりますね。なんせ農作業事故には十分な注意をしてもらいたい。ケガ程度なら良いですが、それ以上の報告は誰も望まないで、安全第一をこころざし続けてください。

まだまだ多くのネタを書きたいのですが文字制限があるため、書くことを止めようと思ひます。今年結婚する人が出てきたりするかもしれませんね。

畑園三十七期生同窓会

平田 翔唯

皆様、ご無沙汰しております。私は畑園三十七期生の平田翔唯と申します。二月九日〜十日に十勝幕別温泉グラウンヴィリオホテルで畑園三十七期生同窓会が行われました。同級生としてお世話になった普及員の方と再会することが出来て嬉しく思います。宴の席では、酒飲んで盛り上がりたり、農業の話をしたりで楽しい二日間でした。

あの同窓会以来皆さんはどうお過ごしでしょうか。私は今年で就農して二年目になります。春になれば定植や植付が忙しくなりますね。昨年は雨が多く、特に五月の長期間の雨や雪で作業が大幅に遅れました。皆さんも大変苦労したと思います。今年はどうなるでしょうか。

私は作業をやって失敗して、逆に足手まといになっているのではないかと思います。しかし、両親は焦らずゆっくり覚えていけば良いと言ってくれました。その言葉が私の力となりました。そして、作業をこなすたびに得られる充実感、作物をすべて収穫し終えた時の達成感はとても嬉しかったです。あつという間に一年が過ぎましたが、一日一日を大事にしていきたいと思えます。

最後になりますが、農業大学校仲間と出会って良かったです。同じ未来の農業者同士助け合って頑張っていこう！俺達の絆は不滅だ！



事務局からのお知らせ

1 会費・寄付金の徴収について

三年に一度徴収していた会費を、当面、集めないことになりました。なお、寄付金については随時、受付をしております。入金先は以下の通りです。

郵便振替口座 〇二七〇〇・五二二五七七一七
加入者名 北海道立農業大学校同窓会

2 住所の変更について

引越等、住所が変更になった場合は、同窓会事務局までお知らせ下さい。会報の送付先を変更いたします。

3 支部活動・同期会の助成について

支部活動及び別期活動を計画された際には同窓会事務局までお知らせ下さい。諸経費の一部を助成します。活動の様子は、ホームページや会報等で紹介させていただきます。

4 「同窓生の広場」への投稿について

事務局では聖鋏会報「同窓生の広場」への投稿を受け付けています。投稿される方は事務局までお気軽にご連絡下さい。

5 同窓会ホームページについて

同窓会ホームページでは、同期会・支部会開催のお知らせ、開催結果、その他活動等についてなどがございましたらホームページにて紹介させていただきます。事務局までお知らせ下さい。

6 農業大学校・同窓会からのお知らせ

農業大学校および同窓会では、卒業生のホームページの情報をお待ちしています。ホームページをお持ちの方で、農業大学校・同窓会からリンクを張っても良いという方は、卒業年(および第〇期か)、学科、お名前、ホームページのURLを添えてご連絡下さい。

【訃報】岡本 雄大氏

(本別町 畜産三十三期・研究十期 平成二十五年八月 麦稈作業中、
ロールペーラーに挟まれ逝去。

本校研修において、先輩農業者として講義を行って頂いていました。ご冥福をお祈りいたします。



北海道立農業大学校
平成27年度
学生募集

北海道立農業大学校では、平成27年度学生募集を次の通り行う予定です。ご子息や近隣の方に、ぜひ農業大学校をご紹介ください。お問い合わせ・資料請求は、TEL 0156-24-2122(教務課教務係)まで。

- 推薦入校試験 ・願書受付：平成26年9月16～26日 ・入校試験：平成26年10月7日
- 一般入校試験 ・願書受付：平成26年9月29～10月8日 ・入校試験：平成26年11月4日
- ★ オープンキャンパス 平成26年8月1日(金) オープンキャンパス以外の日の見学も可能です。